

Ⅲ 高等部

1 学部目標

- (1) 社会生活に必要な知識・技能・態度の向上を図り、働く力を育てる。
- (2) 社会生活に必要な健康・体力・習慣形成の向上を図る。
- (3) 将来の社会生活を視野に入れたコミュニケーション能力の向上を図る。
- (4) 希望進路の達成を目指すために、進路先の知識を深め働くことの意義を理解し、役割遂行や協働活動等を通じた力の向上を図る。

2 経営の重点

- (1) 生徒一人一人のニーズを尊重し、個々の能力・適性に応じた指導・支援に努める。
- (2) 健康と体力を増進し、将来設計に基づいた望ましい習慣を形成する。
- (3) 日常の学習や交流活動を通して、状況に応じた言葉遣いやふるまい、自分の気持ちを伝える力、必要な支援を適切に求めたり相談したりする力を伸ばす。
- (4) 作業学習や実習、社会見学等を通して、様々な職業があることや働くことを経験的に理解し、希望進路の達成に向かうよう指導・支援する。

3 教育課程

(1) 学習指導上のグループ編成

① 学級学年別の学習

「日常生活の指導」「生活単元学習」「特別活動」「自立活動」「総合的な探究の時間」「特別の教科
道徳」

② 全学年合同の学習

「生活単元学習」「総合的な探究の時間」「保健体育」「特別活動」

③ 全学年縦割り別の学習

「国語」「数学」「作業学習（清掃・農作業、調理、工芸）」「特別活動」「総合的な探究の時間」

④ 選択制の学習

「芸術（音楽 美術）」

(2) 学習指導のねらい

① 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

日常生活や社会生活の基本となる事項を、日常の諸活動を通して定着を推進する。

イ 生活単元学習

生活上の目標を達成し課題を解決するために、諸行事や自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に指導するとともに集団への参加や社会生活への適応力を養う。

ウ 作業学習

清掃・農作業、調理、工芸の4班に分かれて、地域社会とのつながりを重視しながら将来の社会生活、職業生活及び家庭生活に必要な知識、技能、態度を身に付ける。

② 教科別の指導

ア 国語

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと
の各領域で筋道を立てて考える力、共感・想像する力、言葉を通じて積極的に人と関わる力、思
いや考えを伝え深める力を養う。

イ 数学

数量や図形などの基礎的・基本的な概念や性質を理解し、日常の現象を数学的に捉え、考察し
表現する力、数学的活動の楽しさを知り粘り強く考えながら獲得した知識や技能を生活に活用
する力を養う。

ウ 音楽

表現及び鑑賞の活動を通して、豊かな情操を養う。

エ 美術

創作活動や鑑賞を通して、豊かな情操を養う。

オ 保健体育

適切な運動の経験や性教育を通して、健康や安全についての理解を深め、将来に渡って健康の保持増進と体力の向上を図る。

③ 領域別の指導

ア 特別の教科道徳（教科別の指導・領域別の指導に含まれる）

各教科等を合わせた指導の中で、適切に指導する。

イ 特別活動

学級活動、全校朝会、生徒会活動、諸行事等を通して集団生活への自主的、実践的な態度を養う。

ウ 自立活動

生徒の心身の発達の調和を図るために、個々の実態に配慮しながら学校生活のあらゆる場面で適切に指導する。重複障がい学級においては時間を設けて指導する。

④ 総合的な探究の時間

- ・地域交流を通して、社会性及び豊かな人間性を育成する。
- ・進路学習を通して、自己理解を深め、自己の生き方、進路などを主体的に考える力や、一つのテーマを探究的に掘り下げ、自己を見つめつつ進路などを主体的に考える力を養う。